

第3期決算・社員総会の報告

TPS 代表理事 品川 昭

所 沢市民ソーラー(TPS)の第3期(2020年11月1日~2021年10月31日)決算の社員総会が新所沢東公民館にて、当社の理事・社員13名全員出席のもと、2021年12月22日の午後5時30分より3時間にわたって開催されました。サポーター会員一人が傍聴されました。総会では議案書に基づき、第3期の事業活動、決算報告、第4期事業計画と人事組織体制について審議されました。主要事業の山宇農園ソーラー発電事業は、夏場に雨天の多い気候はありましたが、年間をとおして順調に発電し、予定どおりの売電収入が確保されました。架台下の作物では山わさびは病気で減収となりましたが、菊芋の方は前年比40%増の収穫でした。また、第2のソーラーシ

ェアリング事業・南永井物件については厳しい環境下、資金確保やパネル下の栽培作物など3つの条件をクリアして取り組むことが確認されました。

再生可能エネルギー普及啓発活動につきましては所沢市による「2050 カーボンゼロシティ所沢宣言」を受けて、市民サイドから主体的に行動する組織体として「〇〇市民会議」を提起し今期においてその具体化を図ることが確認されました。最後に今後の更なる事業活動推進のため、会員拡大を今期積極的に進めてゆくことが確認されました。(8-9頁に、第3期決算の損益計算書と貸借対照表を掲載しています。)



左は、所沢市の「マチエコフォトコンテスト2021」に大島浩司理事が応募し、見事最優秀賞を頂いた「市民ソーラー発電始めています」の写真です。受賞のコメントは3頁をご覧ください。(山宇農園にて2021/10/19ドローンによる空撮写真です。)

CONTENTS

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| p.1 第3期決算・社員総会報告 品川 昭 | p.6 連載 おもしろエコのあれこれ 村上大名 |
| p.2 12/5 討論集会報告 上田マリノ 栗田 彰 | p.7 第2回保守点検 森斌 /お薦め『日本沈没』山本治 |
| p.3 電気自動車のススメ 大島浩司 | p.8 第3期損益計算書 中原幹男 |
| p.4 森林活用のすすめ(6) 吉野雅一 | p.9 第3期貸借対照表 中原幹男 |
| p.5 日本の地質構造の理解を 栗田 彰 | p.10 11-12月発電実績 栗田彰/麦踏み手伝い 品川昭 |

「ストップ!気候危機 討論集会」の報告

TPS 社員 上田マリノ

昨年12月5日、所沢市民の、所沢市民による、所沢市民のための「ゼロカーボンシティ」について考えるべく、「ストップ!気候危機 どうする?所沢のゼロカーボン」と題し、世代や立場を超えたスピーチ&パネルディスカッションを開催しました。

Z世代の市内在住の小出愛菜さん、シニア世代として TPS 代表の品川昭さん、事業者として生活クラブ生協の須長雅和さん、市議の末吉美帆子さん、市からはマチごとエコタウン推進課の宮崎一さんにスピーチをいただき、私も子育て世代としてお話をさせていただきました。

当日は定員42名の会場が満席となり、藤本正人所沢市長にもご出席いただきました。市外からも学生が参加し、オンライン開催のリクエストをいただくなどテーマへの関心の高さがうかがえました。

者をサポートして欲しい」とメッセージを送りました。また市と市民をつなぐマチエコ大使の経験から、「行政も様々な環境施策を行っているので、耳を傾け参加して欲しい」とお願いしました。他のスピーカーの皆さまの取り組みやメッセージについても、ぜひイベントの動画でお聞きください(注)。

ゼロカーボンシティを実現するために、市民はいったい何をしたら良いのでしょうか? 次のステップでは、市民の声に基づいた市民によるアクションプランが必要かもしれません。共に考えていく場を作っていきたいと思っています。

(注)当日の YouTube ビデオは次からアクセスしてください。
<https://www.youtube.com/watch?v=zT7n0L3gtGY>
または次の QR コードから。



「討論集会」へのコメント

TPS 理事 栗田彰

今回の「討論集会」の意味合いについて、主催者側からいくつかコメントしておきたいと思います。

- ・気候危機で重要な世代間の交流を発信できた。
- ・市民-事業者-議会-行政の交流を発信できた。
- ・それぞれが、気候危機と「ゼロカーボン」に対する取り組みの意志を表明することができた。
- ・所沢から地球規模の問題をとらえ発信できた。

こうした成果を踏まえて、今後は、当社の品川代表が呼びかけたように、より広範かつ多数の市民が集い、所沢のゼロカーボンを話し合う「市民会議」の発足に向けて継続的に活動していきたいと思っています。

今回の討論集会は、新型コロナの感染流行の合間を縫って開催されました。そのため、企画の大枠はオンライン会議で進め、実施の運営を効率化できました。今後のイベント開催に活かしていきたいと考えています。



私からは、同世代のみなさんへ「年長者と繋がり先人の知恵と現代のアイデアでこの難局を乗り越えよう」と、そしてシニア世代のみなさんへは「ぜひ行動する若

電気自動車のススメ

TPS 理事 大島浩司

2016年1月、10年乗ったトヨタプリウスの乗換えとして、日産リーフを選びました。

当時も今も、EVを選ぶのは少数派です。当時これから10年でEVが中心の社会となると想像し選びました。あれから6年が過ぎますが現状はどうでしょうか？

ハイブリット車に乗り遅れた欧米や中国はこの機に一気の巻き返しとEVシフトを加速させています。イギリスのジョンソン首相が2030年までにガソリン車の販売中止、35年にはハイブリット車を含む全ての内燃機関を持つ自動車の発売禁止宣言をしました。これは衝撃的でしたが、欧州連合は35年全てゼロエミッショ



ンを目指すと「ゼロエミッション宣言」に署名しました。それに比べ我が国は

どうでしょうか？550万人の雇用が奪われるとか、選択肢をもたらずとか政府・業界が挙って反対を示しています。はたしてそれで良いのだろうか、二酸化炭素の排出削減は喫緊の課題です。

このまま温暖化が進み人類が生存できる地球環境が維持できなければ経済は存在しないのです。そんな現実がすぐそこに来ています。あと5年もすればティッピングポイント(後段参照)を超えるだろうと言われていてます。まだ気が付かないのか、気が付きたくないのか、このまま二酸化炭素の排出を続ける事が許されない今を見つめればEVシフトは当然の成り行きで、また真のエコカーになるには再生可能エネルギーで発電した電気で走ることが必要になるのです。

そんな現状を打破するためにはガソリン車にお別れを告げるユーザーを増やすしかないのです。我々の選択

が地球上の人類とあらゆる生命の未来を決めると言っていていいと思います。

是非これから買い替えるつもりのある人は電気自動車を選ぶことをお勧めします。

ティッピングポイントとは

「少しずつの変化が急激な変化になってしまう転換点を意味します。気候変動についても、人為起源の変化があるレベルを超えると、気候システムにしばしば不可逆性を伴うような大規模な変化が生じる可能性があることが指摘されています。」

「マチエコフォトコンテスト2021」

最優秀賞、大賞受賞

所 沢市主催「マチエコフォトコンテスト2021」が開催されました。目的として、「“人と人”、“人と自然”との絆で、子どもたちの未来を紡ぐエコタウン所沢」を目指してとあります。

私たち所沢市民ソーラーが作った山宇農園ソーラーシェアリング「市民でソーラー発電始めています」と、私が日常としているゴミとCO₂を出さない「エコなコーヒータイム」が共に大賞を受賞しました。また大賞6点の中から人気投票の結果で「市民でソーラー発電始めています」(1頁に掲載)が最優秀賞を頂きました。私たちの活動が所沢市の目指すところにフィットした賜物と思います。ごみを出さない、CO₂を出さない生活をこれからの所沢市民のスタンダードとするために努力します。(大島浩司)

<https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/seikatukankyo/kankyo/ecotown/machiecophoto2021.html> (入選作品25点の中には、TPSの栗田彰さん、上田マリノさん応募の作品も受賞しています。上のURLまたは右のQRコードから受賞作品をご覧ください。HO)



森林活用のすすめ:持続可能な社会づくりのために(6)

TPS 理事 吉野 雅一

前回の記事で森林資源はA材～D材・端材まで全部をバランス良く利用してゆくことが必要だと紹介しました。

A材B材は建築など建材として構造材等に使用し、B材C材は集成材や合板の原料や木杭などに概ね使用されます。C材D材端材は合板材料などのマテリアル使用から木チップやペレットに加工して利用されます。端材や剪定枝などは薪のまま燃料とする場合もあります。チップは燃料の他、公園や豚舎の木チップ舗装に、ペレットも燃料以外に猫砂の代用にするなどマテリアル使用の例もあり、木材の持つ性質を上手く使われる

例もあります。製材所などで端材を木チップに加工して販売している会社もありますが、多くの場合は安定的に販売が出来る製紙工場へ売却されており、飛び込みで購入したくも販売してもらえない場合が殆どです。昭和47年頃に全国で 800 社程あった製材所は現在 200 社程度に減っています。

今回は木質燃料利用の場合の特徴について紹介します。

価格は薪が一番安く、次に木チップ、ペレットが一番高価になります。

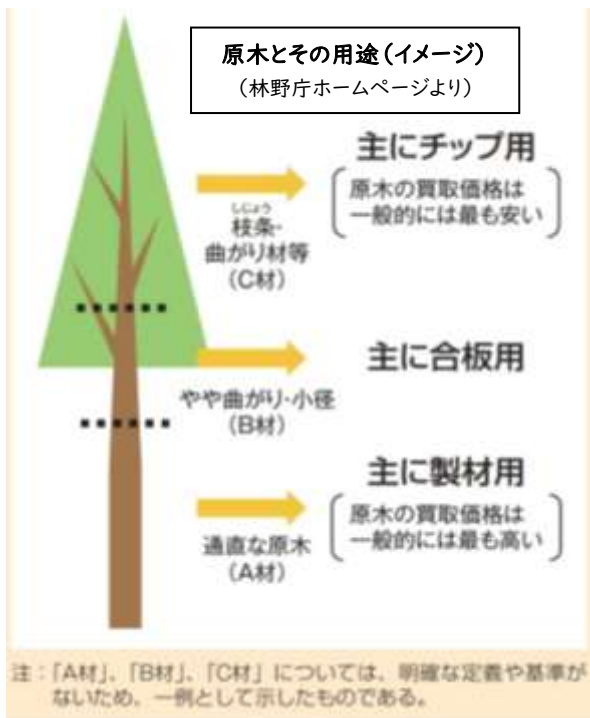
値段が高いペレットやチップの場合は装置によっては自動投入機能があり、燃料の補充と灰出しを定期的に行うだけで利用できる場合が多いのが特徴です。ペレットは燃料の含水率など燃焼に影響する要素が良く管理される為、煙も少なく、市街地での使用もあまり支障なく使えます。木チップの場合はチップの形状サイズが装置によって指定があり、調達時に選定が難しい場合があります。

日本より10年以上も進んでいるドイツやオーストリア等では家庭でのペレットやチップストーブやボイラーが多く普及しています。日本でも各装置は購入できますが、初期投資が化石燃料の装置と比べて高価で、取扱店も少ないので普及が進まない要因になっています。

木材は燃料としたり、マテリアル利用後にゴミとして燃焼処分すると CO2 を排出する訳ですが、木材は元々

々が大気中の CO2 を吸収して固体化したものなのでこの燃焼で出る CO2 は排出量としてはカウントしないカーボンオフセットという考え方が国際的に認められています。(つづく)

(左表は、オムロンエンジニアリングより抜粋)



燃料	メリット	デメリット
薪	最も製造が容易 個人でも原料から薪の製造が可能 樹木の幹、枝、梢、根などを利用 (小木・枝・柴なども利用可能)	ボイラへの投入は人手となる 燃焼効率が低い 煙が多く、火力の調整が困難
チップ	比較的容易に製造が可能 ボイラへの自動投入、自動運転が可能	水分により熱量が変動 燃焼機器が複雑になるため、 小規模機器には向かない
ペレット	大きさが均一で、木質燃料の中で一番 扱いやすい 小型機器でも燃焼効率が良い ボイラへの自動投入、自動運転が可能	製造工程がやや複雑であるため、 薪・チップと比べて高価

日本の地質構造の理解を：リニア新幹線問題を念頭に

TPS 理事 栗田 彰

最近、リニア中央新幹線事故が立て続けに2件起きました。2021年10月27日に中津川市で岩盤崩落事故が起き2名死傷、同年11月8日に長野県豊岡で崩落事故により1名軽傷という事故が発生しています。昔、大正から昭和にかけて丹那トンネル工事が行われた結果、それまで豊富な湧き水があった静岡県の丹那盆地から水が出なくなりました。昭和30年代の黒部第4ダム建設では破碎帯を横切る工事の困難さが知られています。

「日本沈没」のドラマが再び注目をされていますが、



<https://ameblo.jp/indianlegend/entry-12406262398.html> 参照

なぜ地震以上の「大それた」ことが人々の思考に浮かぶのでしょうか。その秘密は日本の地下構造がどのように出来てきたのかにあります。

今回の事故を調べると、西は中津川市から東の木曾山脈を挟んで飯田市を結ぶトンネル工事での崩落事故です。そして飯田市からさらに東には伊那山地をへて中央構造線（後に述べる付加体の層で九州から東北の南部まで続いている断層帯。この地域では南北に走っている）があり、更に東には糸魚川-静岡構造線（断層）があり、その東側はフォッサマグナとよばれ

る日本を東西に分ける大地溝帯があります。その中にはアルプス、富士山、秩父、丹沢などが含まれています。

地球科学が発展してきた結果、プレートの動きで日本が形成されてきたということが分かってきました。フィリピン海プレートと太平洋プレート（海側）、ユーラシアプレートと北米プレート（大陸側）の4つのプレートが主役です。

数億年前に遡りますが、日本の原形はまだ大陸の「ヘリ」でした。そのころ、海洋プレートが次々と大陸にぶつかり沈み込んでいきました。そのとき残存物が大陸のヘリに付着していき「付加体」と呼ばれます。約3000万年前にユーラシア大陸の東端に亀裂が入り、徐々に離れて原日本となり、1500万年前ころまでに日本海を形成していきます。その後、フィリピン海プレートに乗っている伊豆弧が北上して原日本に衝突し始め、南アルプス、500万年前は丹沢、100万年前は伊豆を形成しました。そして、中央構造線がハの字に曲げられました。長瀨はその証拠です。そして300万年前に太平洋プレートの西進に押されてフィリピン海プレートが北向きから北西へと進路を変え、「東西圧縮」が始まりました。それが東北地方の西側の山脈、中部日本アルプス、北アルプスを形成しました。

南アルプスは今でも年4mmで隆起しています。幾たびかの地震を繰り返し、断層を生み出し、富士山は70万年前から噴火を始め、3700年前頃に現在の形になりました。

リニア中央新幹線はこのような中に通そうとしており、本気ですかと言いたい所です。中央構造線の西側の崩落事故は難工事を予想させます。日本は生きているということを忘れないでほしいものです。

参考文献：高木秀雄監修『日本列島5億年史』洋泉社MOOK、2018年、他。

◇いま現在地球は何度温暖化しているのかな

前回の記事で、COP26 において世界の平均気温の上昇を 1.5℃に抑える努力をすることになったとお話ししましたが、今現在地球の気温は何度くらい上昇しているのでしょうか。IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)によると、産業革命以前と比べて約 1.1℃上昇しているとのこと。1.5℃の目標まであと 0.4℃しかありません。今のままでは、あと 20 年で、世界の気温は 1.5℃ 上昇するか超えると予想されています。温室効果ガス(主に二酸化炭素)の排出を早く削減しないと温暖化を 1.5℃ に抑えるどころか、2℃ に抑えることさえできなくなるのです。

二酸化炭素とその他の温室効果ガスの排出を大幅かつ持続的に削減すれば、気候変動を抑えることは可能です。いま世界で大急ぎで二酸化炭素削減に取り組んでいるのはそのためです。自然エネルギーの普及や省エネルギーによる脱炭素社会を一日も早く実現する必要があります。(参考:国連広報センター「気候変動は拡大し、加速し、深刻化している」2021/8/9 IPCC プレスリリース・日本語訳、

https://www.unic.or.jp/news_press/info/42637/)

◇ダイナさんちのエコ 太陽熱温水器

今回は我が家のエコ設備について紹介します。太陽エネルギー利用として一般的に知られているのは、ソーラーパネルを利用した太陽光発電ですが、太陽エネルギー利用としては電気を作る以外に以前から使われてきた「太陽熱」利用があります。今回ご紹介するのはその中でも太陽熱温水器です。太陽熱温水器とは太陽光が持つエネルギーを熱源として水を温めてお湯を供給する装置です。

太陽光発電と比較すると、価格が安いこと、エネルギー効率が低いことが挙げられます。欠点としてはお湯しか作ることができませんが、給湯は家庭におけるエ

ネルギー消費量の 3 割弱を占めることから、給湯を自然エネルギーを使って供給することはゼロカーボン化に向けて重要です。太陽熱利用は太陽光発電に比べ



て、電気に変換する際のロスがない分、上手に使えばエネルギー利用効率が高いと言えます。夏場は天気が良く、シャワーのみの使用ならガスなどによる加温が不要なくらい。冬場でも天気が良ければ水温が 30 度以上まで上がるので燃料使用量を節約できます。

太陽熱温水器は最近減少傾向ですが、もっと見直されてもいいと思います。

(参考文献)

太陽熱温水器:

<https://ja.wikipedia.org/wiki/太陽熱温水器>

太陽熱利用システムの6つの種類と特徴、太陽熱利用システムの設置面積の推移～太陽エネルギー利用の基礎知識(6)

<https://minsaku.com/articles/post837/>

第2回保守点検実施

TPS 理事 森 斌

山 宇農園発電所の第2回保守点検を、2021年10月19日、入澤滋氏(町田市民電力(株)取締役)が来所され年次点検表に基づいて行われました。私達もお手伝いをしながら立ち会いました。

初めにドローンで上空から撮影し、次いでパネルを下から確認すると共にグラつきをチェックしました。架台と基礎については、Iマークによるボルト・ナットのゆ



るみ・錆・部品の脱落・破損等について私達も一緒にチェックしました。接続

箱はパワーコンディショナーの中にある為チェックできずに省略し、前回開けられなかった開閉器の中・電力量計などのチェックで終了しました。



異常はありませんでしたが次の2点が指摘されました。

①太陽電池モジュール表面に著しい汚れ・傷・破損は認められないが軽微な汚れの箇所がある。前回点検時の汚れ箇所は今回の点

検では認められず、降雨によって流れ落ちたと推察される。パネル洗浄は当面不要だが今後も点検時に汚れの蓄積状況を確認する。

②太陽電池モジュール裏面のジャンクションボックスに接続しているケーブルに過剰な張力がかかっている箇所がある。異常な発熱は認められず直ちの対応

措置の必要はないが、今後劣化による問題が起きないか点検毎に確認する。

尚、前回の確認事項については、2020年12月23日、施工事業者(アースシグナル社)により報告書に書かれていた支柱と杭の接合部のずれについて問題がない事を確認し、太陽電池モジュール裏面のジャンクションボックスに接続しているケーブルに過剰な張力がかかっている箇所が多数見受けられた点については調整を行ないました。

おすすめ『日本沈没』

TPS 理事 山本 治

今 から50年ほど前に刊行された日本のSF小説、小松左京原作の「日本沈没」が5回目の映像として2021年10月から9回にわたりTBS(ネットフリックスでも)で放送されました。近年は、地球温暖化が原因に関わると思われる大雨、竜巻、干ばつ、山火事、極地での氷塊、海水上昇などの異常気象が世界中で発生し多くの人が苦しんでいます。同時に軍備保有の国々が自国を守るために軍事演習などをして、膨大なエネルギーを放出し、温暖化など全く無視の現状です。加えて日本では政府の地震調査委員会が30年以内に太平洋岸に3つの巨大地震予測を発表しています。



「日本沈没」は首都東京を舞台に海底の異常現象を見た主人公と関東沈没への警鐘を鳴らす地球物理学者が政・財界やマスコミ仲間・上司の大臣と絡み合いながら、人々を地球規模で救おうと、困難な状況を打開し奮闘する迫力と感動のドラマです。ドローンで首相官邸を襲う襲撃シーン、海外に国民を移動するために民間の自動車会社にノーハウ提供をさせる海外移転、本来あり得ない製薬会社の特許公開などを盛り込んでいます。一読、再読のお薦めです。(初版本は、1973年光文社刊)

第3期 損益計算書 2021年10月決算

(2020年11月1日から2021年10月31日まで)

一般社団法人 所沢市民ソーラー

単位・円

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 事業収益		
再生可能エネルギーの普及推進事業	15,500	
太陽光発電事業 *1	839,416	
		854,916
2 その他収益		
受取会費	86,500	
原稿料	0	
受取利息	27	
		86,527
経常収益計		941,443
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
人件費	0	
(2) その他経費		
土地登記費用	0	
東電&FIT認定費用	0	
減価償却費 *2	881,448	
その他	193,259	
事業費計		1,074,707
2 管理費		
(1) 人件費		
人件費	0	
(2) その他経費		
雑費	11,000	
消耗品	6,739	
支払会費	9,100	
会場費	5,975	
管理費計		32,814
経常費用計		1,107,521
III 経常外収益		
所沢市補助金	0	
受取寄付金 *3	500,000	
国税還付金 *4	553,442	
		1,053,442
IV 経常外費用		
		0
①税引前当期純利益 (I - II + III - IV)		887,364
法人税等		78,700
②当期純利益		808,664
③前期繰越利益		923,763
次期繰越利益 (②+③)		1,732,427

《コメント》

*1 年間発電量が予測よりも6%ほど上回り、売電金額も予算以上を確保できました。

*2 減価償却2期目を計上しました。

*3 支援者より50万円のご寄付をいただきました。

*4 前期設備費に対する消費税の還付を受けました。

第3期 貸借対照表 2021年10月決算

(2021年10月31日現在)

一般社団法人 所沢市民ソーラー

単位 円

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金及び預金	3,773,341	
仮払金	0	
立替金	0	
未収入金	0	
前払金	0	
建設仮勘定	0	
流動資産合計		3,773,341
2 固定資産		
太陽光発電システム	5,527,871	
東電&FIT認定費用	0	
東電系統連系工事費	286,077	
地上権設定登記料	0	
敷地整備工事費	245,138	
固定資産合計 (注4)		6,059,086
資産合計		9,832,427
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金 (注1)	0	
未払金	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
基金 (注2)	3,600,000	
建設協力金 (注3)	4,500,000	
固定負債合計		8,100,000
負債合計		8,100,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		923,763
当期正味財産増加額		808,664
正味財産合計		1,732,427

(注1) 短期借入金：社員5名よりつなぎ資金として290万円借入。5名に140万円第2期返金済み。

残り150万円を建設協力金へ移動。

(注2) 基金の内訳：社員10名200万円、町田市民電力(株)200万円。町田電力へ第2回返金20万円。

町田電力返金累計40万円、基金残160万円

(注3) 建設協力金：建設資金1口10万円×30口。他に社員5名から各30万円。

(注4) 2年度償却率 (0.127) 償却額 (881,448円)

(前頁の損益計算書ならびに本頁の貸借対照表の作成・報告は、TPS 副代表兼財務担当の中原幹男理事。)

11・12月の発電量実績

TPS 理事 栗田 彰

《コメント》

11月、12月とも金額ベースで、予測より1万円以上多い収入でした。寒い日が続きますが、お日様が出ていれば発電はしっかりやってくれることが実感として分かります。

月 日\単位	2021年11月		2021年12月	
	日間発電量 kwh	金額 円	日間発電量 kwh	金額 円
1	101.77	2,015	57.39	1,136
2	105.80	2,094	139.39	2,759
3	142.37	2,818	133.78	2,648
4	151.03	2,990	132.52	2,623
5	153.22	3,033	132.42	2,621
6	149.23	2,954	19.99	395
7	99.92	1,978	42.75	846
8	85.63	1,695	21.75	430
9	8.96	177	112.24	2,222
10	125.10	2,476	83.47	1,652
11	150.13	2,972	128.90	2,552
12	141.33	2,798	103.76	2,054
13	148.23	2,934	133.71	2,647
14	122.86	2,432	29.49	583
15	145.73	2,885	130.29	2,579
16	87.29	1,728	119.47	2,365
17	123.78	2,450	45.79	906
18	66.13	1,309	135.10	2,674
19	111.92	2,216	130.96	2,593
20	127.19	2,518	132.03	2,614
21	72.94	1,444	129.63	2,566
22	13.87	274	127.54	2,525
23	90.09	1,783	127.57	2,525
24	142.44	2,820	121.36	2,402
25	138.52	2,742	98.19	1,944
26	134.87	2,670	112.22	2,221
27	120.91	2,394	136.60	2,704
28	134.92	2,671	135.03	2,673
29	105.63	2,091	114.42	2,265
30	126.23	2,499	117.15	2,319
31			84.58	1,674
合計 (実績)	3,428.04	67,860	3,269.49	64,717
(予測値)	2,744	54,347	2,707	53,616

「麦踏み」のお手伝い

今期のソーラーシェアリング事業を計画している村上三郎氏の畑 600 m² (市内南永井 934) で、昨年12月15日、現地に集合して、村上さんの指導のもと「麦踏み」を行いました。11月10日に小麦の種まきをした苗もすでに15cm位に伸びていました。麦踏みは苗を靴底で踏むことにより根が広がり、より



太く小麦が育つとのこと。今年6月の収穫時の豊作を祈りました。参加された河登さん、塚本さん、大江さん、大島さん、栗田さん、品川夫妻お疲れ様でした。(品川昭記)

陽子ファーム落葉掃きに参加

去る1月8日、ところざわ倶楽部「所沢の自然と農業サークル」主催の陽子ファーム(市内城 509)さ



んが管理する雑木林などの落葉掃きにTPSから今年5名(中原、大島、塚本、山本、大江の各氏)が参加しました。大勢に交って3時間、循環型農業のお手伝いに汗を流しました。(大江宏記)

一般社団法人(非営利型)所沢市民ソーラー会報 (略称 TPS会報)

第13号 2022年(令和4年)2月1日発行

編集:TPS編集委員会 発行責任者:品川 昭

連絡先 e-mail : tokorozawa.shimin.solar@gmail.com

